

大谷3度目MVP

58年ぶり両リーグ受賞

指名打者専任で初選出

【ロサンゼルス共同】米大リーグで史上初めて「50本塁打、50盗塁」を達成したドジャースの大谷翔平(30)が21日、ナショナル・リーグの最優秀選手(MVP)に選出された。エンゼルス時代のアメリカン・リーグで獲得した2021、23年に続く受賞で歴代2位に並ぶ3度目の選出。指名打者(DH)専任でプレーした選手のMVPは初めてとなった。両リーグでの栄冠は1961年にレズズ、66年にオリオールズで選ばれたフランク・ロビンソン以来、58年ぶり2人目。

ドジャースに移籍した今 初の打点王に輝いた。打率
季は54本塁打、130打点 3割1分、59盗塁はリーグ
で、2年連続の本塁打王と 2位の好成績を残した。

選考はレギュラーシーズンの成績が対象。全米野球
記者協会会員30人による投票はプレーオフ前に実施された。最終候補に残っていた。最終候補に残っていた。

ナ・リーグ MVP 最終候補者の レギュラーシーズン成績			
	大谷翔平 (ドジャース)	リンドア (メッツ)	マルテ (ダイヤモンドバックス)
本塁打	54 ^①	33 ^⑥	36 ^④
打率	.310 ^②	.273 ^{②①}	.292 ^⑥
打点	130 ^①	91 ^⑬	95 ^⑩
OPS	1.036 ^①	.844 ^⑨	.932 ^②
盗塁	59 ^②	29 ^⑪	7 ^{⑧⑥}

※○数字はリーグの順位。OPSは長打率と出塁率の合計

大谷はメジャー7年目で初めて進んだポストシーズンでも活躍し、ドジャースの4年ぶり8度目のワールドシリーズ制覇に貢献。傑出した打者を選ぶ「ハンク・アーロン賞」を2年連続で獲得するなど、今季の主要表彰を独占している。

米大リーグのマーリンズ戦で50号2ランを放つドジャース・大谷翔平。「50本塁打、50盗塁」に到達した。9月19日、マイアミ(共同)



大谷 翔平(おおたに・しょうへい) 岩手・花巻東高から2013年にドラフト1位でプロ野球日本ハム入りし、投打「二刀流」で活躍。米大リーグのエンゼルスに移籍した18年に新人王、9勝、46本塁打だった21年にアメリカン・リーグMVPを獲得した。23年は44本塁打で日本勢初の本塁打王。投手では10勝を挙げ、2年連続の「2桁勝利、2桁本塁打」を達成して2度目のMVPを受賞した。今季は史上初の「50本塁打、50盗塁」を記録。193センチ、95キロ、右投げ左打ち。30歳。岩手県出身。